



「ベン・シャーン、丸木位里・俊、栗津潔と…… 今、ぼくたちが思うこと」

岡村幸宣（原爆の図丸木美術館学芸員）× 安田和也（第五福竜丸展示館学芸員）

7月21日(土) 17:00~18:30 参加費1,000円(1drink) 会場：ヒルサイドフォーラム

今を生きる学芸員として、時代に向き合ってきた
敬愛するアーティストを語る……

時代・社会・アート・行動とはなにか。「ベン・シャーン、丸木位里・俊、栗津 潔……今、ぼくたちが思うこと」と題して、丸木美術館の岡村幸宣と第五福竜丸展示館の安田和也、ジャンルの異なる学芸員が原水爆・核をキーワードにトークを展開する。戦後を縦横に生きたアーティストは、重大な核問題に直面する現在に何を投射しているのか！

原爆の図丸木美術館 <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/> 画家の丸木位里・丸木俊夫妻が、共同制作《原爆の図》を展示・公開するために建てた美術館。人間が人間を傷つけ破壊することの愚かさを生涯かけて描き続けた丸木夫妻の作品を常設展示するほか、企画展も多数おこなう。

第五福竜丸展示館 <http://d5f.org/> 1954年3月1日ビキニ環礁でのアメリカ水爆実験により被災したマグロ漁船「第五福竜丸」の船体の保存と資料の展示と、原水爆禁止を訴えるさまざまなイベント、企画展をおこなう。



「デザインの批評・横断・自律」

古賀稔章（編集者）× 大西隆介（direction Q）× 高田唯（ALL RIGHT GRAPHICS）× 橋詰宗（デザイナー）

7月22日(日) 17:00~18:30 参加費1,000円(1drink) 会場：ヒルサイドフォーラム



いま「デザイン」が置かれている状況とは？

若手デザイナーたちによるトーク

栗津潔が精力的に多ジャンルのクリエイターと協働し、『デザイン批評』誌をはじめ批評と言論の場づくりを展開した1970年前後と2010年代の現在に、通底するものはなにか。自らもまた「荒野」を歩むことを自覚し、新たな道を模索する現代のデザイナーたちが、自分たちがイニシアティブをとって進めるプロジェクトを軸に、デザインの展望を語る。

古賀稔章（こがとしあき）元『アイデア』編集者 <http://and.jp.org/>

大西隆介（おおにしたかずけ）direction Q <http://direction-q.com/>

高田唯（たかだゆい）ALL RIGHT GRAPHICS <http://www.allrightgraphics.com/>

橋詰宗（はしづめそう）<http://sosososo.com/>

ご予約は現代企画室（gendai@jca.apc.org / tel. 03-3461-5082）もしくは本展覧会受付まで！